



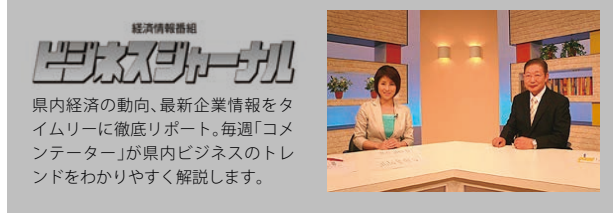
ACL-Times Vol.26

2012/02/20

発行元：株式会社 足利セラミックラボラトリー 編集：宗村裕之/宗村政明/遠藤隆雄/吉田寛康 レイアウトデザイン：ACLサービス事業部



2月24日
金曜夜21:00~
群テレに登場!!



群馬テレビ「ビジネスジャーナル」でACLが紹介されます

放送日 2月24日(金) 21:00~ **再放送** 2月26日(日) 9:00~
2月28日(火) 12:30~

群馬テレビで放映されている「ビジネスジャーナル」にて、弊社足利セラミックラボラトリーが紹介されます。放送予定は2月24日、収録は遡って2月9日に弊社社屋内にて行われました。当番組は群馬県内の企業を現地レポートする形で紹介する番組で、毎週金曜の夜21時より30分間放送されています。30分の中で紹介されるのは二社であり、過去にも様々な企業が紹介されている様です。下記に収録の様子をレポート致します。

幸いにも好天に恵まれた収録当日、いらっしゃったスタッフは、ディレクター、カメラマン、音声さん、レポーターさんの4名であり、収録は朝9時半に軽い打合せを含め開始、夕方の4時ごろまでみっちり行われました。レポーターの比嘉夏希さんは現在都内にてアナウンサーを目指して頑張っている方です。小柄な女性でしたが、何かと騒がしい技工所内でも非常に良く通る声を発しておられたのが印象深い方です。



1 技工室内でレポートする比嘉さん 2 尾林(所長)のリハーサル 3 音声さんによってピンマイクを装着 4 カメラの外で順番待ちする出演者 5 北詰のポーセレン築盛作業収録 6 最後に比嘉さんを囲んで記念撮影

午前中は会議室内で、尾林所長、菊地課長、北詰主任、総務課松田による弊社技工物の説明、社長室にて社長挨拶の収録が行われました。それぞれ話す内容は前もって打合せで決められていたのですが、緊張のためか全員が何度もセリフを間違え、頻りに撮り直しが行われました。又、隣の技工室では平常通り作業が行われているため、それらの物音が頻りに飛び込み、音声さんが「音が入りました」と言って、撮影しなおしを指示する事もありました。撮影スタッフさんはこういった事に慣れていらっしゃるのか始終にこやかに対応してくださり、笑い声のある和気あいあいとした現場となりました。

午後になると今度は場所を変え、技工室内の作業風景が収録されました。これといって特別な事は要求されず、技工士達は黙々と普段通りの仕事をこなすのみでしたが、北詰主任によるポーセレン築盛のシーンだけは机を別にし、カメラマンさんによりあらゆる角度から撮影が行われました。そのシーンだけ長々と30分以上掛けて撮影していた様です。

収録の間、弊社スタッフに様々な質問を投げかけていたのはレポーターの比嘉さん、どうやら技工物が大変珍しい様で、代表の宗村による説明に興味深そうに聞いていました。北詰主任の撮影中、こっそりと話を聞いたところ、一般的な企業とは違い、職人的な雰囲気が大変珍しかったそうです。

番組は30分番組ですが、二社紹介する構成上、弊社が実際に紹介されるのは8分程だそうです。スタッフ4人が総がかりで一日を費やし使われるのがたったの8分間と考え、テレビコンテンツの製作は何とも大がかりで費用も掛かるものだとその様に感じます。この収録にて弊社がどの様な紹介をされるか、ご興味のある方はぜひご覧頂ければ幸いです。弊社技工士の裏の顔が垣間見えるかも知れません…。

C-1 Carving contest 2012

カービングコンテストC-1開催

年始の社内恒例行事、カービングコンテストC-1が今年も開催されました。カービングとは、石膏を彫り込み、歯の形を表現するという単純明快な作業ですが、歯の形態を良く理解していないと大変難しいものです。このC-1は本社技工士と東京支社の技工士も交え、目指せ！最優秀賞！という事で総勢31名が参加しております。最優秀賞を獲得すると、なんと社長より賞金が手渡されるという事で、技工士達の意気込みも年始早々最高潮に達します。審査方法は、番号のみ振られた現物を参加者全員が評価し、一番良いと思われる物に無記名で投票する形を取っております。昨年に続き、無作為に数名の先生達にも審査をお願いしました。

開票は1月下旬に和気あいあいとした雰囲気の中行われ、結果、最優秀賞に北詰浩久(架工一課主任)、義歯課優秀賞に青木信悟、努力賞として黒田郁弥が選出されました。北詰氏は当カービングコンテストにて、3年連続で最優秀賞を獲得しております。誰が製作したかわからないよう名前を伏せた中、3年連続で票を獲得しているのを見ますと、手に持てる研ぎ澄まされた技術と言うものは、誰もがその価値を認めるものなのだ、そのように感じます。



群馬デンタルショーレポート

1月28日、29日、ピエント高崎にて群馬デンタルショーが開催されました。例年通り、弊社も企業展示、遠藤課長によるレポート発表など、協賛企業としての協力を行っております。遠藤のレポート発表テーマは「プレスラブルセラミックの可能性」とし、e.maxなどのプレスタイプセラミックの特徴や利点などを技工所の視点からご説明致しました。デンタルショーへの参加人数はドクターが262名、衛生士が72名、技工士が126名、合計460名となりました。2013年の開催は例年と比べ遅くなり、3月23日、24日となるそうです。



写真上：遠藤隆雄(営業課課長)による講演
下：会場の様子

NEW! 更にしなやかになった新素材のエステショット「ブライト」取り扱い開始

従来のエステショットと比べ、耐衝撃性と研磨性が向上した「エステショット ブライト」が発売されました。吸水量も低減されたため変色しにくく、研磨性も向上、しなやかで装着性も向上しました。今までのものより柔らかく補修可能なノンクラスプデンチャー。詳しくは営業までお問い合わせください。



NEW! ほぼフルラインナップのカスタムアバットメントに対応 GCの「Aadva」システム導入

ジーシー社提供のアドバシステムを導入致しました。3shape社のスキャナーとソフトウェアを利用したシステムであり、今までにない操作性を実現し、かつ20μm以下の高精度スキャンングを実現しています。インプラント関連技工物からフルジルコニアクラウン、ブリッジ、カスタムアバットメント等、ほぼフルラインナップのご提供が可能となります。詳しくは営業までお問い合わせください。

